

## ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する情報公開

福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記のヒトゲノム・遺伝子解析研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成27年9月 福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座  
講座主任

【研究課題名】左側結腸・直腸における大腸鋸歯状病変SSA/Pの遺伝子異常と発癌機構の解明

【研究期間】平成27年9月～平成29年8月

## 【研究の意義・目的】

近年、早期診断・治療に有用である大腸内視鏡検査により大腸癌の前駆病変と考えられる大腸鋸歯状病変が見いだされました。特に、大腸鋸歯状病変のうち sessile serrated adenoma/polyp (SSA/P)の一部に癌化症例が認められることから、病理学的特徴のみならず様々な遺伝子異常の関与が示唆されています。これまでの欧米を中心とした報告では、SSA/Pは右側結腸に多いことがわかっていますが、われわれの施設では、左側結腸、直腸におけるSSA/Pの頻度が約30%程度と多いことを報告しています。本研究では、左側結腸におけるSSA/Pについて、右側結腸のSSA/Pとの遺伝子発現に違いがないか検討し、病理学的背景と遺伝子発現の関連について明らかにしていくことで新たな大腸発癌の解明につなげることを目標としています。

## 【研究の方法】

大腸内視鏡検査で発見され切除された大腸鋸歯状病変の病理組織を使います。これまでSSA/Pに関連する遺伝子について、遺伝子の配列に異常がないか調べたり、遺伝子発現が亢進もしくは抑制されていないかどうか検索します。

## 【研究組織、研究機関名】

研究責任者	小腸・大腸・肛門科学講座	教授	富樫一智
主任研究者	小腸・大腸・肛門科学講座	准教授	隈元謙介
研究分担者	小腸・大腸・肛門科学講座	教授	遠藤俊吾
	小腸・大腸・肛門科学講座	准教授	歌野健一
	小腸・大腸・肛門科学講座	講師	五十畑則之
	小腸・大腸・肛門科学講座	助手	根本大樹
	病理診断科	教授	北條 洋

## 【人体から採取された試料等の利用について】

内視鏡で切除した腫瘍やポリープは、一部組織からDNAを抽出し、その試料を用いて遺伝子解析いたします。

## 【他の機関等への試料等の提供について】

他の機関への提供は致しません。

**【研究者が保有する個人情報について】**

研究者が保有する個人情報に関し、被験者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書等の交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

**【本研究に関する問合せ先】**

## ○研究内容に関する問合せの窓口

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田21番地2

公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター

小腸・大腸・肛門科学講座 隈元 謙介

電話:0242-75-2100 FAX: 0242-75-2568

E-mail:kumamoto@fmu.ac.jp

## ○個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 総務課 大学管理係

電話:024-547-1007 FAX :024-547-1995

## ○その他ご意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 研究推進課 研究支援担当

電話:024-547-1825 FAX: 024-547-1991

E-mail:rs@fmu.ac.jp